

No.12
2018
7/31



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



「第22回定期大会」発言に基づく申し入れ 本日(7/31)提出!!

地本は7月8日に開催した第22回定期大会において多くの代議員から出された会社と職場の未来創造に向けた建設的な発言に踏まえ、下記の通り申し入れました。

1. 各系統で実施されていく施策については、要員削減・効率化のみを追求せず、安全第一を主眼とし、人間尊重、現場を重視したものとすること。また、施策実施に際しての社員説明を行う場合には、一方的な説明にとどまらず、相互理解が深められるように丁寧に行うこと。
2. 職場管理者が「不当労働行為だけれども」と前置きしたうえで東労組からの脱退強要を行っていることは、正当な労働組合活動への支配介入であり犯罪行為であることから直ちにやめること。
3. 東海道新幹線殺傷事件等に対する列車内における安全対策をどのように講じていくのか考え方を示すこと。
4. 昨今の豪雨災害の状況を踏まえ車内での利用者の安全および車内秩序維持管理を行う重要性はさらに増している観点からワンマン施策は実施しないこと。さらに、特急列車の車掌については二名以上の体制を確保すること。
5. 乗務員職場では、未だに労働者が時季指定したにもかかわらず時季変更権の行使が正当な理由なく乱用され年次有給休暇が取得できない状態となっていること、及び休日出勤が常態化していることの解消を図るために、要員の増配置を速やかに行うこと。また、要員確保を実施するまでの間、当面措置として変形日勤・出張・研修等については一旦見送るなどの勤務調整を最大限行い、年次有給休暇を取得させること。
6. 立川運転区で行われている変形日勤の勤務指定での駅案内業務については、系統・職責を超えた異常な取り扱いであり、安全第一の本来業務に集中するべきことから是正すること。
7. 豊田車両センター立川派出の要員体制については、機動性や本線上での応急処置能力など高い技術力が求められていることから、技術教育を考慮した体制強化することとした労使議論を遵守し、2徹+1日勤(総括主任)体制を維持すること。
8. 2018年5月5日、豊田車両センター構内で発生した「移動禁止表示旗」を掲出せずに作業を実施したことは不安全行動であり、感電事故につながる恐れのある重大な事象であることから原因と対策を明らかにすること。また、「他山の石」とするためにも事象の共有化を図るとともに、検修作業マニュアルに則り厳正に取扱うように再周知すること。
9. 6月12日にプレス発表された「日本郵便とJR東日本の地域・社会の活性化に関する協定の締結」に関する内容を具体的に示すこと。また、これまでの駅業務委託先としてきた(株)JR東日本ステーションサービス、(株)JR東日本中央ラインモールとの関係性について、ならびに今後の駅業務委託に関しての考え方を明確に示すこと。

**現場第一主義・人間尊重・安全第一主義
の職場風土を全組合員で構築しよう!!**

